

基本目標3「活力とにぎわいのあるまち」における意見の整理（事務局案）

No.	施策	頁	ご意見等の内容	事務局案	区分
1	農業・水産業の振興	52	イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害が増加しており、特に水田に侵入されると収穫量に大きな影響が生じることから、気候変動の影響も踏まえ、有害鳥獣対策に本格的に取り組む必要がある。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「有害鳥獣などによる被害の防止に向け、森林や里山、農地の適切な管理など、関係する施策を横断的に捉えた取組を進められたい。」	主要意見
2	農業・水産業の振興	52	農業の担い手不足が課題となる中、農業法人や集落営農など、地域農業を支える組織の継続性を確保することが重要である。企業やJA、農業者、教育機関など、多様な主体との連携も視野に入れ、後継者や雇用人材など、地域農業を支える人材の育成・確保に取り組んではどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「農業の担い手確保・育成に向け、企業や農業者、教育機関等の多様な主体が連携し、後継者や地域農業を支える人材を育成する仕組みづくりを進められたい。」	主要意見
3	農業・水産業の振興	52	農産物のブランド化を個々の農業者の取組だけに委ねるのではなく、市全体として農畜産物のブランド力を高め、加工・販売・観光・飲食等との連携を通じて、地場産業の振興につなげてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「農畜産物の市全体としてのブランド化を進め、加工・販売・観光・飲食等と連携した地場産業の振興を図られたい。」	主要意見
4	農業・水産業の振興	52	スマート農業の導入に対する支援を充実させ、新規就農者やスタートアップ、若手人材等の参入を促進するとともに、担い手が主体的に農業経営に挑戦し、活躍できる環境づくりを進めてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「スマート農業への支援を充実させ、新規就農者や若手人材等の参入を促進し、担い手の確保・育成や雇用創出につなげられたい。」	主要意見
5	工業・地場産業の振興	53	地場産業の継承は、担い手確保だけでなく、伝統的な技術や製品の価値を広く知ってもらう取組も必要ではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「地場産業の継承に向け、担い手の確保や技術・技能の継承に加え、地域に受け継がれてきた伝統的な技術や製品の魅力・価値について、積極的な情報発信に取り組まれたい。」	主要意見
6	商業・サービス業の振興	54	まちのにぎわいの要素としてとらえている部分が強く、企業活動の一環であるという視点が欠けている。既存事業所の事業継続や経営の発展や安定といった観点を入れたほうがいいのではないか。	原案を以下のとおり修正します。 基本方針 「商業・サービス業の活性化と持続的な発展を図り、活気あるまちづくりを推進します。」 現状と課題 「持続的な商業・サービス業の活性化を図るためには、資産の有効活用や起業・新規出店の促進に加え、既存事業者の事業継続や経営基盤の強化を図ることが課題となっています。」 施策の方向性 「商工会議所等の関係機関と連携し、創業や新規出店を支援するとともに、既存事業者の事業継続や経営基盤の強化を支援します。また、空き店舗の活用やイベントの開催等を通じて、まちのにぎわいの創出を図ります。」	原案修正
7	商業・サービス業の振興	54	空き店舗への出店を促進するに当たっては、出店後の早期撤退を防ぎ、継続的な営業や地域への定着につなげる観点から、一定期間の営業継続を求めるなど、制度の要件を検討してはどうか。また、市内からの出店者に対する支援や補助内容の充実についても検討してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「空き店舗の活用にあたっては、新規出店の促進だけでなく、出店後の事業継続や地域への定着を図るとともに、事業者のニーズを踏まえた、より効果的な支援制度のあり方を検討されたい。」	主要意見
8	商業・サービス業の振興	54	商業施設の充実や生活利便性など、加古川市がもつ住みやすいまちとしての魅力を改めて評価し、市内外に発信していくことが重要ではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「本市の生活利便性や良好な住環境など、「住みやすいまち」としての魅力を市内外に積極的に発信されたい。」 ※基本目標6で整理します。	主要意見

9	商業・サービス業の振興	54	加古川駅周辺の再整備については、現在の状況だけでなく、将来のまちの姿を見据えた長期的な構想を持ち、民間活力の活用や土地利用、導入する都市機能など、幅広い視点から検討する必要があるのではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「加古川駅周辺の再整備については、将来のまちの姿を見据えた中長期的な構想を持ち、土地利用や導入する都市機能、民間活力の活用等を含め、幅広い視点から検討されたい。」 ※基本目標4で整理します。	主要意見
10	観光の振興	55	広域的な観光ルート、ネットワークについて具体的なルートが見えにくい。どのような交通手段を利用する人を対象としているのかによって取組の方向性も変わるのではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「広域的な観光ルートやネットワークについて、どのような観光客を対象とし、どのような交通手段や周遊を想定しているのかを明確にしながら、具体的な取組を検討されたい。」	主要意見
11	観光の振興	55	観光振興に当たっては、来訪者数の増加だけでなく、滞在時間の延長や市内での消費拡大につなげる視点が重要である。行政と民間が連携し、食や特産品などの地域資源を活用した商品・観光コンテンツの開発や情報発信、人が訪れたいくなる場所づくりを進めてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「観光振興に当たっては、来訪者数だけでなく、滞在時間や市内での消費を増やす視点を重視し、官民連携により、地域資源の魅力やブランドイメージを磨き上げ、商品・観光コンテンツの充実や、人が訪れたいくなる場所づくりを進められたい。」	主要意見
12	観光の振興	55	「かつめし」について、加古川の食文化としての特色や魅力を改めて整理し、ブランドイメージを明確にした上で、観光大使等も活用しながら、対外的な情報発信を強化してはどうか。		
13	雇用と多様な働き方の支援	56	加古川市と兵庫労働局雇用対策協定を締結している中で、ハローワークとしては市と一体となって取り組んでいるという認識をもっている。公共職業所との連携について記載をご検討いただきたい。	原案を以下のとおり修正します。 施策の方向性 就業機会の確保と多様な人材の活躍促進 「企業や公共職業安定所等の関係機関と連携し、就業に関する情報提供や地元企業と求職者とのマッチングなど、地域における雇用の確保に取り組めます。また、ライフステージに応じてすべての人が希望する働き方を選択し、自分らしく安心して働き続けられる職場環境づくりの実現に向けて、企業や関係機関と連携して取組を進めます。」	原案修正
14	雇用と多様な働き方の支援	56	退職を契機に人や地域とのつながりが希薄になる場合があることから、身近な地域での再就職を含め、退職後も就労や地域活動等を通じて、地域とのつながりを維持できる環境が必要ではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「社会経済環境や働き方の変化を踏まえ、就労の継続やキャリアアップ、転職・再就職につながる学び直しやリスクリングの機会を充実するとともに、退職後も就労や地域活動等を通じて社会とのつながりを維持できる環境づくりについて検討されたい。」	主要意見
15	雇用と多様な働き方の支援	56	社会経済環境や働き方が変化する中、就労の継続やキャリアアップ、転職・再就職につなげるため、必要な知識や技能を習得するリスクリングの視点が必要ではないか。		
16	雇用と多様な働き方の支援	56	企業への就職をきっかけに社宅へ入居し、実際に市内で暮らす中で本市の暮らしやすさを実感することが、将来的な住宅取得や定住につながる場合がある。企業誘致に当たっては、雇用の創出だけでなく、社宅等を通じた従業員の市内居住を促し、将来的な定住につなげる視点も必要ではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「産業用地の創出に当たっては、雇用の創出に加え、社宅等を通じた従業員の市内居住を促し、本市での暮らしを将来的な定住につなげる視点を持って取り組まれたい。」	主要意見